

活 動 報 告

●活動名：生きもの調査

●活動のめあて（目的、目標）：

田に生息する生きものを採取・分類・観察し、田と生きもの関わりについて学ぶ。

●日 時：平成27年6月30日（火） 10：35～12：00

●天 気：くもり

●場 所：大沼郡会津美里町鶴野辺字阿久津西及び字阿久津

●当日参加者・協力者

参加者内訳	技術指導	人数
県職員		7名
小学校教諭		2名
児童		23名
地元農家（田んぼ・畑の学校の先生）		0名
田んぼ・畑の学校応援団		3名

●当日の活動場所見取り図



●事前準備

前日までの準備	
実施したこと・準備したもの	参考画像
投げ込みを実施。	

当日の準備

実施したこと・準備したもの

・行きと帰りの際に、整列した児童の先頭と中間に事務所スタッフを配置して、開会式会場（公民館南側駐車場）及び小学校まで、誘導と見守りを行った。

・当日、福島中央テレビ（FCT）による取材があり、活動の様子を即日夕方の情報番組ゴジてれChu!において放送された。

参考画像



●準備物一覧

準備物

網：25

アクリル水槽（大）：3

アクリル水槽（小）：1

ブロワー：2

トレイ（目盛り付き）：2

バケツ：4

参考画像



●当日の活動内容

時間	活動内容・作業や指導のコツ等	参考画像
10 : 35	<p>開会式</p> <p>当日は、空模様が悪いなかで行われました。カエルの共鳴は、まるで雨乞いをしているようです。お願いだから、恵みの雨は後にしてくださいね。</p>	
10 : 45	<p>生物採取</p> <p>まずは、学習田の用水路に生息する生き物をリサーチしましょう！</p> <p>春本講師にアドバイスを頂き、採取します。</p> <p>水路の中を網ですくってみたところ、カラドジョウやタイコウチ、ニホンアマガエル、そしてタニシがいました。</p> <p>春本講師がゲンゴロウの幼虫を捕まえました。</p> <p>その他にガムシの幼虫にも遭遇しました。</p>	  
10 : 55	<p>場所を変えます。</p> <p>学習田より東に約 200m進んだ田んぼにて、再び生物採取を行います。今度は、何に遭遇するのでしょうか？</p> <p>田んぼ、あぜ道、草むら、水路は生き物たちの“ホーム”です。敬意を払って、先程同様にそっと網ですくってみましょう。</p>	 

すると、どうでしょう！ザリガニ、ギンブナ、タモロコがお目見えです。他にも、オタマジャクシ、タイリクバラタナゴ、モツゴ、コガムシにも遭遇しました。



採れた生き物たちを、バケツに入れます。そろそろ、公民館駐車場に戻りましょうか？



11 : 20

公民館駐車場に戻ってきました。

採取の後は、少しお勉強をしましょう。身近な環境対策について、会津宮川土地改良区の前田・酒井講師に説明して頂きます。



モリアオガエル等の生物の繁殖に配慮したビオトープ池や、水路に小動物が落下した際に脱出できるアニマルスロープ、生物が水路内で過ごしやすくする木柵水路などについて、分かりやすく解説して頂きました。



11 : 40

児童たちが、環境対策の講義を受けている間に、春本講師が採取した生き物をそれぞれ綺麗な水が入った水槽へ移し替えて下さいました。



生き物たちは、戸惑いながらも他所の珍しい“おうち”で自由に泳ぎ、各々くつろいでいました。



11 : 50

生態説明。

春本講師が、採取した生き物の生態について説明します。

<p>12:00</p>	<p>閉会式</p> <p>楽しい時間にも、終わりは訪れます。今日体験したこと、体験を通して学んだことを、大人になっても忘れないで頂きたいものです。</p> <p>曇り空でしたが、雨に降られることなく無事に生きもの調査は終了しました。</p>	   
--------------	---	--

●活動の成果・効果

活動の成果	<p>当日は、雲行きが怪しかったために降雨が心配されたが、雨に降られることなく無事に行うことが出来た。今回は、生物採取だけではなく、土地改良への理解を深めて頂く第一歩として土地改良区職員による講義を盛り込んだが、児童たちに興味を持って頂けたようであった。新聞社のみならず福島中央テレビによる取材もあったことから、本県の取り組みを広く知って頂く機会にも恵まれた。</p>
児童の感想	<p>学校のまわりの生きもの調査をして、たくさんの生き物を見つけました。きれいな川に住む生き物もいました。だから、生き物のためにも、きれいな環境を守っていきたいと思います。</p>
小学校の感想	<p>会津農林事務所、JA会津みどり、会津宮川土地改良区の方々に助けをいただきながら、安全に楽しく水中生物探しをすることができました。また児童たちは、アクアマリンふくしまの職員が持ってきて下さったタガメやゲンゴロウを見つけて歓声をあげ、いろいろ質問していました。生き物の住みよい環境づくりをしようとする意識が高まりました。</p>
地元農家の感想	